

7月1日（金）

愛荘町立愛知川小学校と豊郷町立豊日中学校を訪問しました！

## 対談テーマ

### 子どもたちの「学ぶ力」育成の取組と今後の展開について

「学ぶ力」検証モデル事業※による中学校区での共通実践をはじめとする「学ぶ力向上策」の取組を見聞し、これまでの取組や今後の展開について対談しました。

#### 訪問した委員

土井 真一 委員      岡崎 正彦 委員  
野村 早苗 委員



※子ども一人ひとりの学びの状況を適切に把握・検証し、より効果的な取組や指導の実践を行い、子どもたちの「学ぶ力」の向上を目指す事業のこと。

#### 愛荘町立愛知川小学校について

「あいがいっぱい愛知川小学校」を合言葉に、全教職員が共通理解・共通実践しながら「学ぶ力」の育成をはじめとする教育活動に取り組んでいます。期末テストや「算数カルテ」など、子どもたちの学習意欲を高める様々な学習活動を展開しています。

#### 豊郷町立豊日中学校について

「学び」と「育ち」の連続性をめざして、町内の保幼小と連携した教育活動を展開しています。個に応じたきめ細やかな指導の充実や、子どもたちが「わかった」「できた」と実感できる授業づくりに学校全体で取り組んでいます。

#### 意見交換より

委員：子どもたちが自ら課題設定、学習、振り返りという学びのサイクルに取り組むよう小学校から学ばせるか、子どもたちに自由に学ばせるべきか、どちらが適切と考えるか。

愛知：議論が必要ではあるが、中学校に進学した子どもの保護者から、学習の仕方が身に付いていることはありがたいとの声をいただいている。また、学年に応じた段階的な取組や、学級や学校全体で目標に向かって取り組めていることがよいと思う。

委員：「学ぶ力」を育成するためには、保幼小中が連携して子どもを支援することが重要と考える。

豊日中：小学校と中学校の教員が1日入れ替わって勤務する取組を行った。それぞれの学校の様子を互いにつかむことができたことで、今後より連携して取り組むことができる。

委員：子どもたちが落ち着いて学習に取り組むためには、家庭や地域全体で育ちに関わることが重要であり、その一環としてよい取組である。

